

オレンジ・通信

2025

Vol. 46



佐々木まゆみ市議会活動レポート



2025年2月発行



発行元／仙台市議会公明党市議団 仙台市議会議員佐々木まゆみ
仙台市宮城野区幸町3-3-1 TEL022-707-7462 メールアドレス sasaki@sendai-komei.jp

世代を超える多様なつながりを持つ街づくりを

令和6年度第4回定例会が12月23日に終了し、

今回は代表質疑を行いました(詳細中面)

本市では市役所本庁舎の老朽化、各庁舎の分散などの課題を解消するため、新本庁舎の建て替え工事を進めており、令和9年11月末に完了、10年度から利用が始まる予定です。

日本は少子高齢化と人口減少に直面しており、2040年には高齢者人口がピークを迎え、生産年齢人口が大幅に減少します。このため、高齢者の孤独・孤立問題の深刻化が進むと予想されます。「世界幸福度報告」によると、日本の「社会的支援」「寛容さ」の指標は低迷しており、その改善が求められています。新しい社会の構築には、年齢に関係なく多様なつながりを形成することが重要です。こうした課題を踏まえつつ日々の活動に邁進して参ります。

寒さもまだまだ続きます。本年も皆様にとりまして健康で素晴らしい一年となりますよう心よりお祈りいたします。私も地域社会のさらなる発展に全力で取り組む決意です。何卒よろしくお願ひ申し上げます。



新仙台市役所本庁舎完成予想図



大池県議と朝のごあいさつ

仙台市議会議員 佐々木まゆみ



福祉・教育に関する課題について。 市民サービスなど身近な制度について質問。

令和6年第4回定例会 代表質疑 令和6年12月12日



災害時における福祉的支援の充実を!

【佐々木まゆみ議員】大規模災害時の避難所環境は、不自由で厳しい生活を強いられ続けている。

特にトイレカー、トイレトレーラーの導入に向けた現時点での仙台市の取り組みはどうか。

【危機管理局長】災害時に対応する携帯トイレの更なる備蓄、より衛生的に使用できるマンホールトイレの整備等も含めた災害時のトイレ確保に関する方針を今年度中に作成し、来年度(令和7年度)から事業を開始できるよう協議している。

トイレカーについては、本市単独での導入には必要な台数の確保や、平時の活用などの課題もある。

被災地のニーズに応じて迅速に提供できる仕組みづくりを国が進めており、その動向を注視していく。

利活用など地域特性を活かした取組例も示しながら、児童生徒や地域の方にとってより望ましい環境の実現に向けて取り組んでいく。

小規模校について

【佐々木まゆみ議員】人間関係のトラブルやいじめ等の問題により、子どもたちの関係が著しく悪化した場合でも、複数学級があればクラス替えにより一定の配慮を図ることができるが、小規模校では対応が難しくなる。また、体育の授業においてチームで行う競技にも制限がかかるし、部活動やクラブ活動の設定・指導者の確保などにも制限が出てくる。

さらに教職員の人数が少ないことで、多面的に子どもたちの良さに気付き、支援する機会も減少するものと考えられる。教員同士が切磋琢磨する環境を作りにくく、指導技術の伝承が難しいといった課題もあると伺っている。こうした課題を解決していくためにも、「一定の学校規模を確保」する必要があるものと考えるがどうか。

【郡市長】学校は、変化の激しいこれからの社会を生き抜くために必要な「生きる力」を育む大きな役割を担っている。

基本的な知識や技能の習得はもとより、様々な考え方を持った仲間と対話をし学び合う活動を通じて、思考力や判断力、あるいは表現力を育みながら、他者と協調できる社会性を身に着けていくことが重要である。こうした力の育成に向けて、小規模校では学校間の交流学習などの工夫をしているものと認識している。

一方で、人間関係の広がりなどの課題を踏まえると「一定の学校規模」であることが望ましいと考えており、引き続き教育委員会とともに取り組んでいく。

充実した学校運営について

小学校の統廃合について

【佐々木まゆみ議員】統廃合は、少子化によるものほか、教育環境の改善に向け、より多くの子供たちと学び合う教育環境をつくるためのケースもある。

学校は地域活動の拠点であり、災害時の指定避難所でもある。適正化により、学校が使用されなくなった場合、売却されるのではないかなど、跡地の利活用について不安視する意見が市民の方から多く寄せられる。

今後本市における小規模校等の統廃合は、地域活性化にもなるよう教育委員会から様々な選択肢を提示していただきながら進めてはどうか。

【郡市長】小規模校の保護者や地域の皆様とは、家庭的な雰囲気の中で学校生活が送れる一方で、人間関係の広がりや多様な考えに触れる機会が少ないなどの課題を共有し、定期的に意見交換を行っている。保護者の教育環境への思いは様々であり、校舎の

学校給食の実施方式について

【佐々木まゆみ議員】本市では自販方式のうち、単独調理校77校、親子方式校4校、学校給食センター対象校105校となっている。11月に示された、仙台市学校給食施設基本方針(中間案)では、児童生徒数が一定規模を下回る単独調理校は、親子方式への移行を進めるとしている。センター方式ではなく親子方式に移行しようとする理由は何か。

【教育長】この基本方針は、安全で安心な給食を将来にわたって安定的に実施するため、学級数が一定規模を下回る単独調理校について他の実施方式に移行することにより「持続可能な運営体制の構築」を図るものである。移行にあたっては、近隣の学校から給食を提供でき、地場産物の活用の取り組みやすいこと等から、親子方式を基本に進めることとしている。一方で学校給食センターは、単独調理校の改築時等の代替提供や専用の調理室でのアレルギー対応食の安定的な提供等を行っているところであり、教育委員会としては、それぞれの実施方式の特性を活かしながら、安全で安心な学校給食を提供してまいりたい。

市独自の帯状疱疹ワクチン公費助成について

【佐々木まゆみ議員】帯状疱疹ワクチンについては、国が費用を公費で支援する定期接種を、令和7年4月から65歳の方などを対象に始めることになった。市町による独自助成を導入している自治体の年齢対象は50歳以上だ。本市も独自の助成をすべきではないか。

【健康福祉局長】これまで市独自要望など各般の機会を捉え、国に対し早期の定期接種化を求めてきた。本市としては国による定期接種化に向けた準備を進め、その円滑かつ着実な実施に向け取り組んでまいりたい。

救急電話相談について

【佐々木まゆみ議員】平成16年に我が会派で取り上げて以来、粘り強く設置を求めてきた、救急電話相談が、現在では「こども夜間安心コール#8000」として「毎日午後7時から翌朝8時まで」の県事業として利用できるようになっている。

さらに先日地元紙では、「宮城県が、(医療機関が一般的に休みの)日曜祝日に#7119の24時間化を令和7年度から実施する方向」と報じられており大変うれしく思う。周知も含め、救急車の適正利用の促進が期待されると思うがどうか。

【健康福祉局長】本市では#7119の24時間化は、救急車や医療機関の適正利用にも資するとの認識の下、共同の実施主体である県に対し働きかけを行ってきた。県から、先般、来年度から24時間化を図る方向で調整を進めている旨連絡を受けた。

その際令和7年4月に24時間化をスタートした場合、負担額が現在の2倍程度となる見込みも示されており、24時間化の時期などを含め、詳細について引き続き県との協議を進めていく。

またあらかじめ広く周知することは重要で、今後予定している県と連携した新たな媒体の活用による広報での対応を含め、24時間化の決定後可能な限り速やかに、市民の皆様への広報周知に努めてまいりたい。

路線バスと「地域交通」の充実を!

【佐々木まゆみ議員】市営バスについては、残念ながら市内44路線全て赤字という厳しい状況にある。地域交通を補うことで廃止の路線検討をするになるのか所見を伺う。

【交通事業管理者】現在市内試験運行を含め9地区で「地域交通」が運行されている。それらの実施状況等を踏まえながら、幹線を担う路線バスと、その周辺部を担う地域交通との結節のあり様やルート設定について、関係部局との連携のもと検討を進めていく。

その他、盛土規制法・廃校となった学校施設の跡地利用・給食費の助成・本庁舎建て替えに関する契約状況・街路樹管理・デジタル技術を活用し交通機関や施設入場券などの購入ができる「仙台MaaS(マース)」などについて質問した。

佐々木まゆみ
日々の活動



新春のごあいさつ(1月)
団結第一!今年もよろしくお願ひします。



公明党東北女性フォーラムを開催(9月22日)
「あなたとつくるダイバーシティー」をテーマに基調講演もプレゼンテーションも大変に勉強になりました



児童虐待防止推進月間「オレンジリボン街頭演説会」に参加(11月)



様々な場面で、ご挨拶させて頂きました。温かいご声援に感謝です。(12月)



入居間近の鶴ヶ谷市営第二住宅(12月)



魯迅仙台留学120周年記念祭碑善献花式に参列(10月28日)
1904年秋から1906年春まで仙台に留まった、文豪魯迅。
更に学び、歴史を深めてまいります。



ごはんといのちのストーリー展へ
(9月15日)



燕沢学区新年祝賀会に参加(1月12日)



令和6年度 仙台駐屯地成人行事に
大池康一県議と参加(1月15日)



鶴ヶ谷と地元幸町の新年祝賀会に
参加(1月19日)



仙台市出初式に参加(1月7日)



安養寺シンボルタワー
伐採(12月)

佐々木まゆみプロフィール

昭和39年7月仙台市生まれ。平成23年仙台市議会議員初当選(宮城野区選挙区)。現在4期目。
【仙台市議会】総務財政委員会副委員長。観光戦略調査特別委員会副委員長。

f 日々の活動は
フェイスブックを御覧ください。



Facebook